

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

マスコミ関係各位

2012年 1月 24日

明治学院大学国際平和研究所 (PRIME) 国際シンポジウム 「原発危機下の分断を越えて—〈私〉とフクシマをつなぐ」

福島第一原子力発電所の事故は、一年近くを経過した現在、その深刻さがますます明らかになってきました。周辺地域の被害はもとより、放射能大量放出の将来にわたる地球社会への影響は甚大です。

原子力エネルギーを組み込んできた社会構造のもとで、今あらゆる人がこの災害の当事者でありながら、しかし同時にその被害によって分断を余儀なくされています。それぞれがどのようにつながり、共同性を創出し得るか、大学はそれにどのように関与できるのか、さまざまな視点から考えてゆきます。

- 1月28日(土) 13:00-18:15(受付 12:30、13:00-13:30 オープニングイベント) 会場:白金キャンパスアートホール
13:30-16:00 **セッション1:原発災害をめぐる情報の共有と政府・市民の役割**
「低線量長期被曝都市と住民」後藤宣代氏(福島県立医科大学)
「内外への情報公開・共有についての課題—福島事故の教訓から」鈴木達治郎氏(原子力委員会)
「いっそうの情報開示を—国境を超えた情報共有の意義」ローレンス・レペタ氏(明治大学)
コメンテーター:武者小路公秀氏(大阪経済法科大学・国際平和研究所客員所員) / 司会:高原孝生(国際平和研究所所員)
16:15-18:15 **カフェ形式でのセッション:福島からの当事者の方々と交えてのグループ討論**
- 1月29日(日) 10:00-17:45(受付開始 9:45) 会場:白金キャンパス 本館10階大会議場
10:00-12:30 **セッション2:原発災害を生きるための思想を創り出す**
「足尾から福島へ—『デンキ開ケテ、世見暗夜トナレリ』」菅井益郎氏(國學院大學)
「原発危機の政治学 | 福島と水俣をつなぐ」栗原 彬氏(日本ボランティア学会代表)
「フクシマ後に築く分かち合いの社会」マルク・アンベール氏(フランス・レンヌ大学)
コメンテーター 五十嵐暁郎氏(立教大学) / 司会 浪岡新太郎(国際平和研究所所員)
14:00-16:30 **セッション3:原発危機と大学—〈知の拠点〉は存在しうか**
「3・11後の福島大学の取り組み」塩谷弘康氏(福島大学)
「放射能汚染をめぐる研究の組織化」小山良太氏(福島大学)
「3・11後の大学とボランティア—何をみようとしなかったのか」仁平典宏氏(法政大学)
司会 猪瀬浩平(国際平和研究所主任)
16:45-17:45 **全体総括の討論:コーディネーター 竹尾茂樹(国際平和研究所所長)**
- お申込み・お問合せ:明治学院大学国際平和研究所(PRIME) 03-5421-5652(11:00~18:00)

取材のお問い合わせは…

明治学院大学 広報室 担当:渡辺、板橋

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguaad.meijigakuin.ac.jp

http://www.meijigakuin.ac.jp